

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 新美 敢  
幹事 堀江宏輝  
会報委員長 魚津常義

No. 16

ロータリーに活力を——あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

1988~89年度 R I 会長 ロイス・アビー

### 第308回例会 昭和63年10月18日(火) 雨

#### ◇ “奉仕の理想”

#### ◇ 出席報告

会員 58名 出席 38名  
出席率 65.52%  
前回 10月11日 (修正出席率) 100%

#### ◇ ビジター紹介 7名

#### ◇ お誕生日祝福

水野(賀)君(10/5)、久保田夫人(10/18)、佐野君(10/19)

#### ◇ ニコボックス

小林 明君 松居さん、先週ゴルフ賞品家内共有難うございました。

木全 昭二君 スピーカー 林 敬順氏をお迎えして。

和田 正敏君 早退致します。

水野 賀統君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。

久保田 皓君 夫人誕生日祝い。結婚記念日祝い。

佐野 寛君 誕生日祝い。

小池 宗君、成田 良治君 結婚記念日祝い。

#### ◇ 三輪米山委員長報告

今月は、米山月間となっております。お手許に資料をお配りしてありますが、よろしくご協力お願いいたします。

#### ◇ 菅原君姉妹提携クラブ訪問報告

10月8日から仕事でオーストラリアへまいりました。時間の都合で例会出席はできませんでしたが、10月14日お別れパーティに、ハーツビルRCより8名、コガラRCより2名のお客様がきて下さいました。一部写真もお待ちしております。また今後、名古屋を訪れる予定の人もいらっしゃるそうです。

お会いしていませんが、千種RCの方々にくれぐれもよろしくお伝え下さい。これからは、もっと活発に交流したいので、新美会長によりしく、とのメッセージがありました。こちらからは、新美会長のお名前、記念品

をお持ちしました。

#### ◇ 大口副幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。

~~~~~ 青年功績賞表彰 ~~~~~  
当クラブのエリア内で、最も活発な青少年団体の団員2名に、青年功績賞を授与いたします。

村上 知陽 君

武藤 健史 君

(木全青少年奉仕委員長)



#### ◇ 講演

“生きた青少年活動”

ボーイスカウト愛知連盟リーダートレーナー  
林 敬順 氏 (紹介 木全君)



私がカブスカウト隊の副長になってから何  
カ月か経ってある集会で、連盟歌のタクトを  
ふって帰る仕度をしていると、うさぎスカウ  
ト(小学校3年生)がそばに寄ってきて、「副  
長、今日のタクト間違ってたよ」と言います。  
4拍子であるからそのように拍子をとったが、  
どこが違うのかと言うと、連盟歌は4拍目か  
ら歌い出すので、4拍目からふらないといけ  
ないと言われ、半信半疑で家に帰り家内に正  
すとその通りだと言われ子供でもいいかげん  
に扱うことは出来ないと、この運動に対する  
姿勢を正さなければと痛感しました。その事  
が、ボーイスカウトの訓練場である栃木県西  
那須野にある野営場で行われたスカウトの歌  
研究会、3泊4日毎日朝から晩まで歌・歌の  
研究会に参加するきっかけになりました。そ  
の後、息子達の成長につれ、ボーイ隊、シニ  
ア隊の指導者をつとめ、昭和59年の秋に来  
年度米国フィルモント派遣(7/21 出発 8/10帰  
着)の指導者にとわれ、派遣隊の隊長を引  
きうけました。

7/22 フィルモント野営場着、我がクルー担  
当のレンジャー、Tom Neeley について準  
備を始める。長時間のトレイルであるので極  
力荷物は少なく必要長小限にと指導を受ける。  
いよいよ翌日午後出発、10km位歩いて第1泊  
野営地に着く。夕食後食料をベアバックに  
入れ、熊の襲撃をかわすため木につるす。  
翌朝最少限の水で顔を洗う方法、ファイアブ  
レイスの残り炭の始末の仕方、自然をそこな  
わない徹底した撤営指導を受ける。  
トレイル中何か困ったことにあたると、トム  
さんならどうするという言葉が出る。ヘッド  
クォーターでの準備を入れてたった3日間で  
これ程クルーの皆より親われ、尊敬されるレ  
ンジャーの人格のすばらしさに先輩より聞い  
てはいたもののスカウトの理想像を見る思い  
であった。

61年の夏、団委員会の席で明日息子が、東  
ヨーロッパへ出発しますといわれ、とりあえ  
ずお饗別をあげ無事を祈る。約1カ月後帰国、  
いろいろ報告を聞く。彼は大学へは進学せず、  
YMCAで英語を勉強する学校の課題で4カ  
国を1カ月間旅行する。予算日程などすべて  
企画、立案することののっとって行ったと言  
います。お父さんは大変心配であったがシニ  
アの時の移動キャンプと同じでフレームザ  
ックにシュラフを付けて行ったので安心しま  
したと、ボーイスカウトでは個人の特性を伸  
ぶすことを大切に、それが将来その子の職業  
につながり、幸せに人生を歩むことを願っ  
ています。今、彼はあるバス会社の海外旅行セ  
ンターに勤めています。

今年夏の我国の懇親会であるお母さんが、

息子が人命救助で表彰されましたと、「初め  
聞いた時は2次災害を恐れ小言をいいた  
が、良く聞いてみるとボーイの時に救急法の  
講習を受けた時潮者の救助法を聞いていたの  
でその通り実行した」とのことでした。

以上スカウト活動を通して知り合った多く  
の青少年のうち何人かを御紹介しました。

#### ◇情報抄録より

##### ロータリーに活力を

親善、平和、世界理解への私たちの熱望を  
形にしようとするなら、ロータリアンである  
私たちひとりひとりに、行動する責務があり  
ます。可能性は目の前に開かれています：必  
要なのは、人類のために切り開いていくこと  
です。

あなたの熱意が、模範として重要です。

可能なことを実施しようとするなら、  
これは、「不可能な明日」へ向かって1歩踏  
み出すことを意味します。自分を例に挙げる  
なら、これは、あなたが住み、働いている場  
所に果敢かつ熱心に新しい道徳的水準を築く  
よう、あなたひとりひとりに勤めることで  
す。ロータリーに活力を--あなたの活力を。  
共に前進しましょう。

—1988年R I 国際大会における  
ロイス・アビー会長の  
スピーチより

##### 高齢者への奉仕

高齢者は、よく「老人」と呼ばれます。社  
会奉仕し続け、仕事から退いた後、「怒々自適  
のとき」を迎える人もいます。しかし、引退  
が厳しい孤独につながる人もいます。年々、  
友人は離れ、愛する人は亡くなります。です  
が、私たちは、ロータリアンとして、高齢者  
に、「あなたたちは忘れられた人ではありません  
と納得させることのできる数々の方法  
もっています。

私たちは高齢者に十分奉仕してきましたか？  
高齢者のためのプロジェクトを現在実施して  
いますか？

##### 協力について

多勢で重荷を負えば、軽くなります。

—ホーマー

古代ギリシャの哲学者

#### ◇例会変更のお知らせ

名古屋和合RC 11/9(水)FSMの為、かすが  
荘にてPM 5:30より

#### ◇次回例会(10月25日)

講演 “私の職業について”

会員 小山 雅弘君、佐久間 良治君

#### ◇次々回例会(11月1日)

ファイアサイドミーティング  
松楓閣にてPM 6:00より